

少子化でも飛躍を続ける学校の秘訣を紐解く新刊 『ネクスト私学』

-教育新時代に挑む19の変革物語- 私立中・高等学校編-

2016年12月10日発売

学術図書を扱う株式会社晃洋書房（代表取締役：川東 義武、本社：京都市右京区。株式会社明光ネットワークジャパン（東証1部：証券コード4668）のグループ企業）は、全国の私立中・高等学校の運営ノウハウを研究した新刊『ネクスト私学』（高嶋 哲夫 監修、近藤 隆己 編集）を、2016年12月10日（土）に発売いたします。

日本中のすべての学校が、子どもたちの学力を伸ばし、健全な育成を目的に全力を注いでいます。その中で生き残り、さらに受験者数を伸ばし大きく飛躍している学校があります。その差はなぜ、どこから生まれているのでしょうか。本書では日本各地で大胆な変革を遂げ、多数の志願者を集めている私立中・高等学校19校をピックアップし、それぞれの学校の試行錯誤の歴史をたどり、さらなる高みを目指す学校運営の姿を紹介します。

日本中の学校運営に携わる方々や保護者の方々に、このような学校があることを知っていただき、教育の重要性、意義、可能性をより深めていただければと思います。



<掲載私立中学・高等学校 19校一覧>

栄東中学校・高等学校(埼玉県・共学校)
昌平中学・高等学校(埼玉県・共学校)
工学院大学附属中学校・高等学校(東京都・共学校)
駒込中学校・高等学校(東京都・共学校)
東京都市大学付属中学校・高等学校(東京都・男子校)
獨協中学校・獨協高等学校(東京都・男子校)
佐久長聖中学・高等学校(長野県・共学校)
京都学園中学高等学校(京都府・共学校)
京都橘中学校・高等学校(京都府・共学校)
東山中学・高等学校(京都府・男子校)
西大和学園中学校・高等学校(奈良県・共学校)
大阪偕星学園高等学校(大阪府・共学校)
開明中学校・高等学校(大阪府・共学校)
桃山学院中学校高等学校(大阪府・共学校)
啓明学院中学校・高等学校(兵庫県・共学校)
神戸龍谷中学校高等学校(兵庫県・共学校)
滝川第二中学校・高等学校(兵庫県・共学校)
明誠学院高等学校(岡山県・共学校)
沖縄尚学高等学校・附属中学校(沖縄県・共学校)

<書籍概要>

- 書籍名：ネクスト私学-教育新時代に挑む19の変革物語-私立中-高等学校編-
- 著者名：高嶋 哲夫 (監修), 近藤 隆己 (編集)
- 発売日：2016年12月10日 (土)
- 定価：本体1,500円 (税別)
- 判型：A5版
- ページ数：394ページ
- ISBN：978-4-7710-2820-3
- 購入方法：全国の書店、Amazon (<https://www.amazon.co.jp/dp/4771028206/>)



【推薦文】

森上 展安(株式会社森上教育研究所 代表取締役社長)

<http://www.morigami.co.jp/>

「この本には、各学校の子どもたちへの思いが詰まっています。

学校運営にかかわる人、子どもの学校教育に悩む保護者に、ぜひ読んでもらいたい一冊です。」

<監修者紹介>

高島 哲夫

1949年岡山県生まれ。慶應義塾大学工学部卒。同大学院修士課程を経て、日本原子力研究所研究員。

1979年日本原子力学会技術賞受賞。その後カリフォルニア大学に留学し、帰国後は作家に転身。

『帰国』で第24回北日本文学賞、『メルトダウン』で第1回小説現代推理新人賞、『イントゥーダー』で第16回サントリーミステリー大賞・読者賞をダブル受賞。

2007年松竹・米ユニバーサルピクチャーズ共同制作で『ミッドナイトイーグル』が映画化。

2010年『風をつかまえて』が第56回青少年読書感想文全国コンクールの課題図書（高等学校の部）に選定。

小説『いじめへの反旗』の他、『アメリカの学校生活』『公立学校がなくなる』『塾を学校に』などで教育に関する提言も積極的に行っている。

【会社概要】

会社名	株式会社晃洋書房 (株式会社明光ネットワークジャパン(東証1部:証券コード4668)のグループ企業)
代表	川東 義武
設立	1962年4月
所在地	〒615-0026 京都市右京区西院北矢掛町7番地
電話番号	075-312-0788
FAX番号	075-312-7447
URL	http://www.koyoshobo.co.jp/
主要業務	学術専門書出版(哲学・心理学・宗教・歴史・地理・社会科学、自然科学、工学・工業、芸術、語学、文学、その他)
主要販売先	トーハン、日販、大阪屋 その他 取次 全国書店及び大学生協



学術図書出版 晃洋書房

<お問い合わせ先>

株式会社晃洋書房

担当: 蘆田(あしだ)

TEL: 075-312-0788 FAX: 075-312-7447

E-MAIL: mail@koyoshobo.co.jp